2026 年 10 月 11 日

主日礼拝

礼拝讃美歌⇒38 番（YA 姉）
『世々に誉むべし』

聖書⇒ヨハネの黙示録 4 章 8~11 節（KH 姉）
『この四つの生き物には、それぞれ六つの翼があり、その周りにも内側にも、一面に目があった。彼らは、昼も夜も絶え間なく言い続けた。
「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、／
全能者である神、主、／
かつておられ、今おられ、やがて来られる方。」
玉座に座っておられ、世々限りなく生きておられる方に、これらの生き物が、栄光と誉れをたたえて感謝をささげると、二十四人の長老は、玉座に着いておられる方の前にひれ伏して、世々限りなく生きておられる方を礼拝し、自分たちの冠を玉座の前に投げ出して言った。
「主よ、わたしたちの神よ、／
あなたこそ、／
栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方。
あなたは万物を造られ、／
御心によって万物は存在し、／
また創造されたからです。」』

礼拝讃美歌⇒23 番
『聖なる聖なる聖なるかな』

聖書⇒イザヤ書 43 章 1~4 節（KT 姉）
『ヤコブよ、あなたを創造された主は／
イスラエルよ、あなたを造られた主は／
今、こう言われる。
恐れるな、わたしはあなたを贖う。
あなたはわたしのもの。
わたしはあなたの名を呼ぶ。
水の中を通るときも、わたしはあなたと共にいる。
大河の中を通っても、あなたは押し流されない。

火の中を歩いても、焼かれず／
炎はあなたに燃えつかない。
わたしは主、あなたの神／
イスラエルの聖なる神、あなたの救い主。
〈中略〉
わたしの目にあなたは価高く、貴く／
わたしはあなたを愛し／
あなたの身代わりとして人を与え／
国々をあなたの魂の代わりとする。』

（祈り）

《パン裂き》

聖書⇒出エジプト記 16 章 4 節（NH 兄）
『主はモーセに言われた。「見よ、わたしはあなたたちのために、天からパンを降らせる。』

聖書⇒出エジプト記 16 章 31 節
『イスラエルの家では、それをマナと名付けた。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 6 章 48~51 節
『わたしは命のパンである。あなたたちの先祖は荒れ野でマンナを食べたが、死んでしまった。しかし、これは、天から降って来たパンであり、これを食べる者は死なない。わたしは、天から降って来た生きたパンである。』

聖書⇒マタイによる福音書 26 章 26~28 節
『一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えながら言われた。「取って食べなさい。これはわたしの体である。」また、杯を取り、感謝の祈りを唱え、彼らに渡して言われた。「皆、この杯から飲みなさい。これは、罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。』

礼拝讃美歌⇒89 番
『われらの主なる』

（式）

礼拝讃美歌⇒151 番
『ああ主よわれら』

《建徳》

聖書⇒ヨハネによる福音書 11 章 3 節（CN 兄）
『姉妹たちはイエスのもとに人をやって、「主よ、あなたの愛しておられる者が病気なのです」と言わせた。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 11 章 5 節
『イエスは、マルタとその姉妹とラザロを愛しておられた。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 13 章 1 節
『さて、過越祭の前のことである。イエスは、この世から父のもとへ移る御自分の時が来たことを悟り、世にいる弟子たちを愛して、この上なく愛し抜かれた。』

聖書⇒マタイによる福音書 23 章 27~28 節
『律法学者たちとファリサイ派の人々、あなたたち偽善者は不幸だ。白く塗った墓に似ているからだ。外側は美しく見えるが、内側は死者の骨やあらゆる汚れで満ちている。このようにあなたたちも、外側は人に正しいように見えながら、内側は偽善と不法で満ちている。』

聖書⇒マタイによる福音書 23 章 33 節
『蛇よ、蝮の子らよ、どうしてあなたたちは地獄の罰を免れることができようか。』

聖書⇒マタイによる福音書 22 章 33 節
『群衆はこれを聞いて、イエスの教えに驚いた。』

聖書⇒マタイによる福音書 11 章 5 節
『目の見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、重い皮膚病を患っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生き返り、貧しい人は福音を告げ知らされている。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 2 章 1~11 節（KH 兄）
『三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があって、イエスの母がそこにいた。イエスも、その弟子たちも婚礼に招

かれた。ぶどう酒が足りなくなったので、母がイエスに、「ぶどう酒がなくなりました」と言った。イエスは母に言われた。「婦人よ、わたしとどんなかかわりがあるのです。わたしの時はまだ来ていません。」しかし、母は召し使いたちに、「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」と言った。そこには、ユダヤ人が清めに用いる石の水がめが六つ置いてあった。いずれも二ないし三メトレテス入りのものである。イエスが、「水がめに水をいっぱい入れなさい」と言われると、召し使いたちは、かめの縁まで水を満たした。イエスは、「さあ、それをくんで宴会の世話役のところへ持って行きなさい」と言われた。召し使いたちは運んで行った。世話役はぶどう酒に変わった水の味見をした。このぶどう酒がどこから来たのか、水をくんだ召し使いたちは知っていたが、世話役は知らなかったので、花婿を呼んで、言った。「だれでも初めに良いぶどう酒を出し、酔いがまわったころに劣ったものを出すものですが、あなたは良いぶどう酒を今まで取って置かれました。」イエスは、この最初のしるしをガリラヤのカナで行って、その栄光を現された。それで、弟子たちはイエスを信じた。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 11 章 3 節
『「主よ、あなたの愛しておられる者が病気なのです」』

礼拝讃美歌⇒472 番（KH 兄）
『十字架の血に』

《建徳要旨》